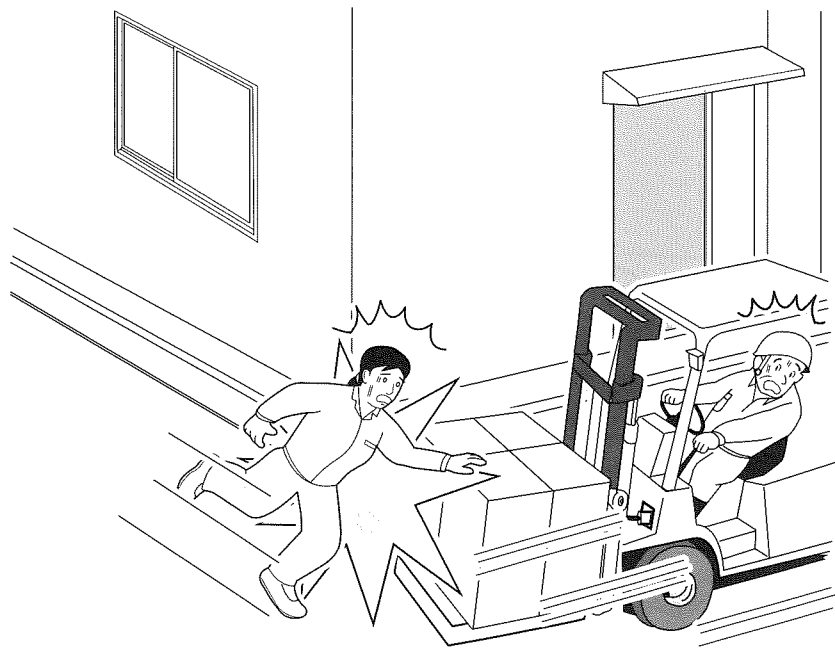


二日酔いのフォークリフト運転で事故

運転中とっさの処置が遅れた



《災害のあらまし》事業場のフォークリフトの運転手A(男性・25歳)が、朝の出勤直後、上司から荷待ちのトラックに所定の荷を運ぶように指示され、急いでフォークリフトを運転中、工場の角から出てきた他職場の作業員に接触し、全治2週間のケガを負わせました。

《災害の主な原因》

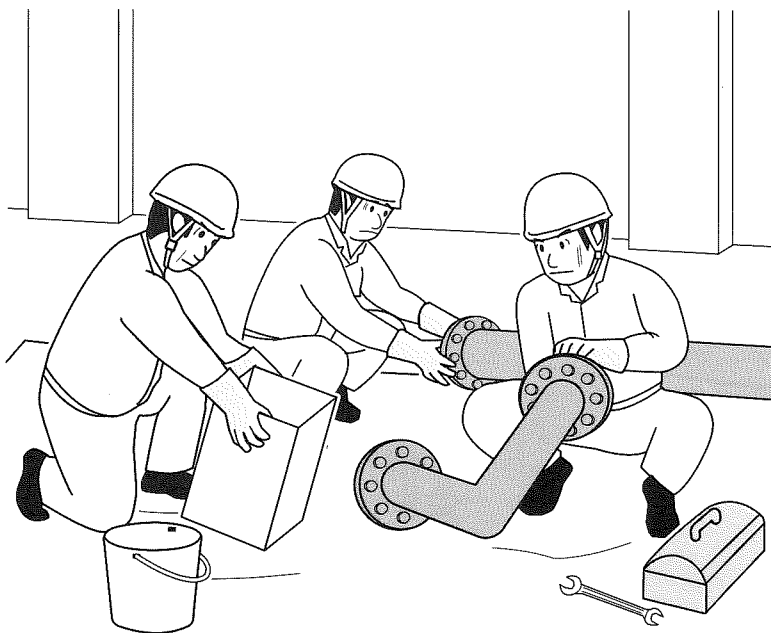
- ① Aは前夜、夜中まで仲間と酒を飲んでおり、二日酔いの状態だったこと。
- ② Aは酒酔いの状態でスピードを出してフォークリフトの運転を行ったため、とっさの危険回避運転が出来なかったこと。
- ③ 管理・監督者がAの体調(二日酔いの状態)に気が付かず、直ちに作業を指示したこと。
- ④ Aは酒酔いの状態を自覚せず、慎重さを欠いた運転を行ったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① フォークリフト運転者に対して作業前にアルコールチェックを行い、酒気帯び等運転の撲滅を図る。
- ② 管理・監督者は、作業前ミーティングなどの際に部下の健康状態をチェックし、また、作業者間でもお互いに健康状態を確認する。
- ③ フォークリフト等の車両が走行する構内の要所には、交通安全表示や標識、カーブミラーなどを有効に設置する。
- ④ フォークリフト運転業務従事者の再教育を実施する、など。

有害物質が手の皮膚から浸透して中毒

ゴム手袋に損傷があった



アニリンの
おもな用途

染料・染料中間体・媒染剤・加硫促進剤・医薬品・
有機合成・火薬原料・靴墨・香料・ペイント類の原料

《災害のあらまし》工場の定期修理現場から運び込まれた部材や廃材等を、工事業者の3名が仕分けや整備を行っていました。

1名が有害化学物質のアニリンが入っていた容器や配管の付着物を除去したりフランジ等を研磨する作業を行っていた後で、体の具合が悪くなり、病院で診察を受けたところ、アニリン中毒が分かり休業災害になりました。

《災害の主な原因》

- ① アニリンが残留・付着した容器や配管等の解体前の工場側の洗浄等が不十分だったこと。
- ② 被災者はゴム手袋を使用して作業を行っていたが、手袋に損傷があり、皮膚からアニリンが体内に吸収されたこと。
- ③ アニリンの有害性等について工事業者への説明や安全対策等が不十分だったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 有害物質が付着した配管等の工事や整備では内部の残留物質を完全に排出する。アニリンの場合は水洗いを繰り返し、さらに蒸気を吹き込んでアニリンを完全に抜き取る。
- ② 作業前に作業対象となる化学物質の有害性や救急処置などについて作業者に教育を行う。
- ③ 経皮吸収の恐れがある物質の場合は、損傷等が無い不浸透性の保護手袋や保護衣を着装する、など。

※保護手袋の使用・着装については「化学防護手袋の選択・使用等の留意事項について」（平成29年1月厚労省指針）を参照。

クレーンの荷が当たって墜落死亡

吊り荷が強風にあおられて作業者に激突



《災害のあらまし》高さ約8mの工場屋上の集じん器に極板を設置するため、地上の移動式クレーンで極板を吊り上げていたところ、強風のため吊り荷が振られ、屋上で仮設の手すり越しに身を乗り出してクレーン運転者に合図を送っていた被災者に極板が当たり、そのはずみで手すりが外れ墜落し、死亡したものです。

《災害の主な原因》

- ① 強風や突風の中で、高所作業やクレーン作業が行われていたこと。
- ② 被災者は、仮設の手すり越しに身を乗り出してクレーン運転者に合図を送っていたこと。
- ③ クレーンで吊られた集じん器の極板が強風で大きく振られて被災者に当たったこと。
- ④ 工事の発注者、施工業者、クレーン業者等の間で、作業前の連絡・調整等が行われていなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 強風のときは高所作業やクレーン作業は中止する。(クレーン等安全規則で規制)
- ② 仮設であっても、高所に手すりを設置する際は、労働安全衛生規則等で定めた基準の手すりを設置する。
- ③ 業者が混在して作業を行うときは、作業前に連絡調整等をしつかり行い、徹底を図る。
- ④ 強風等が予測され、特に危険が想定される高所作業では、器材・材料等の落下防止並びに作業者の墜落防止対策を厳重に行う、など。

労災・事故速報

(最近の新聞等から)

- ・鉄骨が崩れ作業員が屋上から落下し死亡。7月30日午前、東京都千代田区の12階建ビル新築工事現場の屋上部分で、クレーンに吊っていた複数の鉄骨(重さ約2t)が落下、巻き込まれた20代男性作業員が10階に落下し死亡。(読売新聞ほか)
- ・高熱の灰に埋もれ4人死傷。7月29日午前、千葉県市原市の建築ガラスメーカー工場で、設備補修のため灰をかき出す作業をしていた作業員6人が高熱の灰の下敷きになって埋もれ、50代男性が死亡、他3人が化学熱傷。(千葉日報)
- ・ショベルカーの下敷きになり死亡。7月25日午後、広島県広島市の工事現場で、撤収作業でショベルカーを操作しながらトラックの荷台に積み込んでいた40代男性作業員が、転倒したショベルカーの下敷きになり死亡。(中国新聞ほか)
- ・耕運機とビニールハウスの間に頭挟まれ重体。7月24日午前、福島県郡山市の畑で、農作業中の80代男性が手押し型耕運機とビニールハウスの間に頭を挟まれて意識不明の重体。(福島民友新聞)
- ・作業中に高所から転落して死亡。7月23日午後、群馬県高山村の木材加工会社敷地内で、集じん機のモーターを取り外す作業をしていたクレーン会社会長の70代男性が約3.2mの高さから転落して死亡。(上毛新聞)
- ・火力発電所港内で潜水作業中に死亡。7月22日午後、福島県広野町の火力発電所の港内で、海底に堆積する土砂を撤去する作業をしていた60代男性作業員が、潜水作業中に心肺停止状態になり、病院搬送後に死亡。(産経新聞)
- ・保守車脱線で新幹線がストップ、作業員負傷。7月22日未明、愛知県蒲郡市の東海道新幹線の上り線上で、保守用車両同士が衝突し脱線、新幹線が運転見合わせ。脱線車両を線路に戻す作業をしていた作業員1人が負傷。(産経新聞)
- ・重機が横転して作業員2人死傷。7月20日午前、東京都世田谷区の住宅地の工事現場で、クレーン機能付き油圧式パワーショベルが横転し、50代男性作業員1人が死亡、20代男性作業員が負傷。(NHKほか)
- ・ゴルフコース整備中に転落して死亡。7月19日午後、群馬県藤岡市のゴルフ場で、1人乗りの作業機械に乗ってコース上の芝生整備をしていた50代男性作業員が、コース外の斜面に転落し死亡。(上毛新聞)
- ・電柱設置作業中に感電、作業員が死亡。7月18日午後、広島県呉市の電柱の敷設中の歩道で、柱を吊り上げていたクレーンが高圧電線に接触し、作業をしていた20代男性作業員が感電して死亡。(中国新聞)
- ・アパート建設現場で鉄骨が落下、作業員死亡。7月16日午後、千葉県船橋市のアパート建設現場で、クレーン車で鉄骨(重さ計約2t)を吊り上げていたワイヤが切れ、40代男性作業員が落下した鉄骨の下敷きになり死亡。(千葉日報)
- ・昇降機に挟まれ重傷。7月16日午後、茨城県常総市のおしぼり洗浄工場で、おしぼりの選別作業をしていた80代男性作業員が昇降機に挟まれ、胸を強く打ち重傷。(茨城新聞)
- ・重機で吊り上げた鋼矢板が落下し作業員死亡。7月14日午後、秋田県秋田市の堤防工事現場で、重機で吊り上げた鋼矢板が落下し、下にいた70代男性作業員に当たって死亡。(岩手放送)
- ・塩酸が飛び散って作業員負傷。7月12日朝、兵庫県伊丹市の金属材料製造工場で、塩酸で鉄を洗浄する作業中に機械が不具合で停止し、補修作業後に再起動した際に塩酸が飛び散って男性作業員3人が負傷。(神戸新聞)
- ・停泊中の船で爆発、7人が負傷。7月11日午前、福岡県苅田町のセメント工場で、工場の岸壁に停泊していた船からセメント原料を荷下ろし作業中、ハッチを開けた際に爆発。作業員9人が負傷、うち3人が重度の火傷。(九州朝日放送)
- ・サイロ内でおがくずに埋もれて死亡。7月11日午前、石川県金沢市の森林組合の工場で、おがくずをサイロからダンブカーに積み込む作業をしていた50代男性作業員が、サイロの中でおがくずに埋もれて死亡。(北国新聞)
- ・サイロの修理中、ベルトコンベヤーに挟まれ死亡。7月10日午後、滋賀県水口市の建設部材工場で、材料を貯蔵するサイロの修理をしていた70代男性作業員が、サイロとベルトコンベヤーの間に挟まれて死亡。(京都新聞)
- ・新築マンション工事現場で作業中に倒れて死亡。7月9日午前、愛知県名古屋市の新築工事現場で、1人で部屋の内装工事をしていた60代位の男性作業員が倒れ、病院搬送後に死亡。熱中症の疑い。(中日新聞)
- ・ウニ漁船4隻が転覆、3人死傷。7月6日朝、北海道利尻島沖約20mの海上で、ウニ漁中の1人乗り漁船4隻が次々と転覆、乗っていた80代男性1人が死亡。ほか、60代と40代の男性2人がケガ。(北海道放送)
- ・化学工場で大炎、作業員が火傷。7月5日夜、大阪府大阪市の化学工場、水素化ナトリウムを混ぜる作業中に何らかの原因で引火し大炎が発生。作業をしていた50代男性作業員が火傷。(産経新聞)
- ・積込中の機械の下敷きで死亡。7月5日午前、大阪府摂津市のコーヒー店前の路上で、トラックの荷台にコーヒー焙煎機(重さ約300kg)を積込中に機械が倒れ、運送会社社員の50代男性が死亡、30代男性コーヒー店員がケガ。(読売テレビ)
- ・作業中に感電して死亡。7月4日午前、沖縄県沖縄市の飲食店の塗装工事現場で、30代とび職の男性が他の作業員と足場を組んで作業していたところ、電柱の電線に接触して感電し、死亡。(沖縄タイムス)
- ・リモコンで移動中の鉄骨の下敷きで死亡。7月3日午後、埼玉県日高市の鉄骨製造会社の敷地内で、リモコン操作で鉄骨(重さ800kg、長さ12m)の移動作業をしていた60代男性作業員が、鉄骨に体を挟まれ下敷きになって死亡。(埼玉新聞)
- ・作業中に指を挟まれ重傷。7月2日午後、群馬県館林市の医療用部品製造会社工場で、医療用具を束ねる紙製バンドの切断作業をしていた20代女性作業員が、切断機に右手中指を挟まれ先端部分を切断する重傷。(上毛新聞)